

平成29年度舞鶴地域医療推進協議会総会 次第

日時：平成29年6月19日（月）

午後7時30分から

場所：舞鶴市保健センター（中総合会館）

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 案

- (1) 第1号議案 平成28年度事業報告について
- (2) 第2号議案 平成28年度決算について
- (3) 第3号議案 平成29年度事業計画（案）について
- (4) 第4号議案 平成29年度予算（案）について

4. 閉 会

第1号議案

平成28年度事業報告について

平成28年度事業報告の承認を求める。

平成 28 年度 舞鶴地域医療推進協議会 事業報告

(平成 28 年 6 月 27 日～平成 29 年 3 月 31 日)

舞鶴地域医療推進協議会（以下「協議会」という）は、一般財団法人 舞鶴地域医療連携機構を解散し、同機構の主たる役割を継承する組織として、平成 28 年 6 月 27 日に発足。

平成 28 年度においては、医療機関相互の連携強化や救急医療体制の確保のほか、市と連携し、地域医療に係る情報発信・啓発に取り組んだ。

I 事業執行状況

◎舞鶴地域医療推進協議会 第 1 回会議

開催日 平成 28 年 6 月 27 日（月）

協議内容 ・舞鶴地域医療推進協議会 運営要綱（案）について
・役員等の選任について
・平成 28 年度事業計画（案）について

1. 連携強化

(1) 公的 4 病院長会議の開催

	開催日	出席者	主な協議内容
第 1 回	H29. 2. 6（月）	各病院長、市	H29 年度休日救急輪番体制の対応について ・舞鶴赤十字病院小児科医の退職に伴う輪番体制の協議
第 2 回	H29. 2. 20（月）	各病院長、事務部長、 医師会長、市	[日赤病院]4 月当番日の小児科一次診療の対応（医師確保）について検討 [医療センター・共済病院]日赤病院当番日の小児科のバックアップ（二次診療）について了承
第 3 回	H29. 3. 16（木）		[市]4 月の輪番体制についてチラシ等で市民啓発・周知を図る。 【継続協議】

(2) 医療連携部会の開催

	開催日	出席者	主な協議内容
第 1 回	H28. 11. 22（火）	各病院事務部長、 担当課長等、 市	電子カルテの共有化について ・情報共有等に関する各病院本部の動きや、各病院の既存電子カルテの更新時期、個人情報に関する問題等について協議。 ⇒今後、国・京都府の動向もしっかりと情報共有し、地域に最も望ましい患者情報の共有化について検討を行っていく。

(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

「在宅医療・介護連携のための意見交換会」を共催（主催：舞鶴市）

・開催日 第 1 回 平成 28 年 10 月 12 日（水）
第 2 回 平成 28 年 12 月 3 日（土）

第3回 平成29年2月25日(土)

- ・出席者 医師会、歯科医師会、薬剤師会、ケアマネジャー、地域包括支援センター
- ・内容 事例報告
参加者によるグループ討議

2. 救急医療体制の確保

(1) 救急医療部会の開催

	開催日	出席者	主な協議内容
第1回	H28.8.5(金)	医師会、 各病院救急担当医師、 市消防本部救急担当、 市	・休日における救急輪番体制(後期)について ・舞鶴市休日急病診療所の状況について ・救急搬送について

(2) 公的3病院による休日救急輪番体制の調整

平成28年4月1日～平成29年3月31日

- 【実績】 ◆診療科：内科、外科、小児科
◆実施日数：72日
◆患者数：5,690人

(3) 輪番病院と休日急病診療所(内科：一次救急)との連携

平成28年4月1日～平成29年3月31日

- 【実績】 ◆休日急病診療所の診療日数：34日
◆休日急病診療所の受診患者数：409人
うち輪番病院への転送数：19人

3. 地域医療に係る啓発・情報発信

地域医療に関する情報をチラシ・パンフレットにより発信し、市民啓発に取り組んだ。

(1) 舞鶴赤十字病院小児科医の退職に伴い、舞鶴赤十字病院の救急当番体制を維持することが困難な状況になったことや、通常の診療に加え、休日や夜間の対応で医師の負担が大きい中、限られた医師数により当番医をやりくりして救急医療体制を確保していただいていること、軽症などの緊急を要しない場合は、できる限り平日の診療時間内に受診いただくこと、コンビニ受診の抑制などについて、市民周知を行った。

⇒チラシ「4月の休日救急医療のお知らせ」の作成 35,500部

新聞折込み、公的4病院、市内各医療機関、幼稚園・保育所等へ配布。

(2) まいづるお医者さんマップや子どもの救急対処法リーフレット等を作成し、「かかりつけ医」を持っていただくことの大切さやコンビニ受診を控えることなど、医療機関へのかかり方等について市民啓発を行った。

⇒まいづるお医者さんマップ（医療機関紹介）の作成 6,000 部
市施設や転入者へ配布。

⇒子どもの急病対処法リーフレットの作成 6,000 部
幼稚園や保育所、市施設、乳幼児健診などで配布。

⇒病院間循環バス案内チラシの作成 1,000 枚
〃 ポスターの作成 20 枚
公的 3 病院などへ配布。

【参考】

市との連携事業

・病院間等連携ネットワークシステムの運営

⇒病院間で画像データなどの情報共有を行い連携強化するためのネットワークシステムの運営

・公的病院循環バス利用運賃助成

⇒病院間循環バスの運行に伴い、同一日にバスを利用して公的病院間を移動、受診する患者に対し運賃を助成

利用実績 2 件（医療センター ⇒ 日赤病院）

・原子力災害時の患者情報バックアップ

⇒高浜・大飯原子力発電所の UPZ 内（緊急防護措置を準備する区域：原発から概ね 30km の区域）の医療機関の災害対策として、非常時に避難先の医療機関等における患者の主要な医療情報を電子カルテから抽出・保存し、病院から外へ持ち出せる体制を整備。

（舞鶴医療センター・舞鶴赤十字病院が参加）

第2号議案

平成28年度決算について

平成28年度決算の承認を求める。

平成28年度 舞鶴地域医療推進協議会決算報告書

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
1. 補助金	2,000,000	1,482,191	△ 517,809	○舞鶴市補助金
2. 雑収入	1,000	6	△ 994	○預金利息等
合計	2,001,000	1,482,197	△ 518,803	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
1. 連携強化事業費	31,000	5,880	△ 25,120	○公的4病院長会議・部会等開催経費
2. 市との連携事業 (協議会と連携しつつ市が主体となる事業)	1,950,000	1,412,471	△ 537,529	(1) 医師確保 131,858円 ○医師確保情報発信事業費 108,000円 ○医師確保対策事業費 23,858円 (2) 連携推進事業 221,856円 ○病院間等ネットワークシステム運営事業費 221,256円 ○公的病院間等循環バス運賃助成事業費 600円 (3) 地域医療に係る情報発信・啓発 1,058,757円 ○地域医療啓発事業費 940,497円 ○地域医療情報発信事業費 118,260円
3. 事務費	20,000	63,846	43,846	○通信料 ○振込手数料 等
合計	2,001,000	1,482,197	△ 518,803	

第3号議案

平成29年度事業計画（案）について

平成29年度事業計画（案）を提案する。

平成 29 年度 舞鶴地域医療推進協議会 事業計画書（案）

【事業の基本的概要】

舞鶴地域医療推進協議会（以下、「協議会」という。）は、中丹地域医療再生計画に位置付けられている舞鶴地域医療連携機構の役割（機能）を継承するものであり、舞鶴市における地域医療の確保・充実を目的として、病院間等の連携体制の強化に寄与する取り組みを基本的事業として実施する。

平成 29 年度においては、病院間・病診間の「連携強化」、「救急医療体制の確保」及び地域医療の課題等に関する「啓発・情報発信」を重点に事業を推進する。

1. 連携強化

公的病院間や病診の連携はもとより、患者情報の共有化や、医療・介護の連携による急性期から回復期・療養期・在宅医療・介護までのシームレスな連携体制（地域包括ケアシステム）の構築など、様々な地域医療の課題について、公的 4 病院長会議や医療現場の担当者と情報共有や協議等を行い、実行性のある医療連携に努めていく。

(1) 公的 4 病院長会議の開催

公的 4 病院における診療体制や医療の確保などの共通する課題や、これに関連する重要事項について協議を行う。

(2) 医療連携部会の開催

テーマ別に現場担当者による部会を開催し情報の共有化を図るとともに、医療連携や地域医療の充実について協議を行う。

部会名	構 成 員	内 容
●医療連携部会 ・ 医師連携 ・ 地域連携 ・ 実務連携	・ 医師会 ・ 公的 4 病院 ・ 歯科医師会 ・ 薬剤師会 ・ 地域医療連携担当部署 ・ 府（保健所） ・ 市医療担当部署	● <u>病院間・病診間の連携強化</u> ・ 病院間医師応援体制の構築 ・ 電子カルテ（患者情報）共有化の検討

2. 救急医療体制の確保

救急医療部会を開催し、持続可能な休日救急輪番体制のあり方（見直し）の検討などを行う。

部会名	構 成 員	内 容
救急医療部会	<ul style="list-style-type: none">・ 医師会・ 公的 4 病院・ 市消防本部（救急担当）・ 市医療担当部署	<ul style="list-style-type: none">● <u>持続可能な休日救急輪番体制のあり方（見直し）の検討</u>● <u>輪番病院と休日急病診療所（内科：一次救急）との連携</u>● <u>公的 3 病院による平日夜間救急医療体制の連携推進</u>

3. 啓発・情報発信

お医者さんマップ、かかりつけ医啓発チラシ、子どもの救急対処法リーフレット、訪問歯科診療の案内チラシ等の作成や、公的病院共同セミナーの開催等を通して、地域の医療課題に関する啓発を行う。

（参考）

協議会と連携しつつ市が主体となって実施する事業

(1) 医師確保

- ・ 中・高生医療体験イベントの開催
- ・ 医学生・研修医向けWEBでの啓発

(2) 連携推進事業

- ・ 病院間等連携ネットワークシステムの運営
- ・ 公的病院循環バス利用運賃助成
- ・ 原子力災害時の患者情報バックアップ

(3) 地域医療に係る啓発・情報発信

- ・ コンビニ受診の抑制や、かかりつけ医を持つことについての啓発活動
- ・ ホームページや広報紙等による情報発信

第4号議案

平成29年度収支予算（案）について

平成29年度収支予算（案）を提案する。

平成29年度 舞鶴地域医療推進協議会予算(案)

収入の部

(単位:千円)

項 目	予算額	説 明
1. 補 助 金	1,930	○舞鶴市補助金
2. 雑 収 入	1	○預金利息等
合 計	1,931	

支出の部

(単位:千円)

項 目	予算額	説 明
1. 連携強化事業費	49	○公的4病院長会議・部会等開催経費 電子カルテの共有化の検討(先進地視察)
2. 市との連携事業 (協議会と連携しつつ市が主体となる事業)	1,547	(1) 医師確保 ○3病院研修プログラム情報発信事業 ○医師体験プログラム事業 (2) 連携推進事業 ○病院間等ネットワークシステム運営事業費 ○公的病院間等循環バス運賃助成事業費 (3) 地域医療に係る情報発信・啓発 ○地域医療啓発事業費 ○地域医療情報発信事業費
3. 事 務 費	335	○通信料 ○振込手数料 等
合 計	1,931	

(附帯事項)

・予算の執行について

支出する経費につき、特別の事情等により予算の額を超えて支出を要するものについては、経費に他の科目の予算現額の範囲内で流用し、支出することができるものとする。